

科目名		文献調査法		授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科3年		必修・選択

〔授業の目的・ねらい〕

理学療法士は臨床において様々な患者様を担当し、治療方法やその他の情報が多岐にわたっている。
またエビデンスという概念が理学療法士業界でも広く言われているため臨床経験だけに頼るべきではないという意見もある。
そういった背景から理学療法士は様々な考え方を文献を通して学ばなければならず、文献の調査方法を習得する必要がある。

〔授業全体の内容の概要〕

講義とグループワークを中心に実施する。実際に文献を探して読み、内容を理解する授業を行う。

〔講師の実務経験〕

ささやま医療センターにて急性期から回復期までのリハビリテーションを理学療法士として7年間経験

〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

実際に必要な文献を探し、内容を正確に理解することができるようになる。

回数	講義内容
1	文献調査に関する総論 -文献の探し方-
2	文献の種類について
3	文献の読み方
4	文献の読み方
5	文献調査の実際
6	文献調査の実際
7	文献調査演習 -自分で探して、読んで、解釈をしてみよう-①
8	文献調査演習 -自分で探して、読んで、解釈をしてみよう-②
	定期筆記試験

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
エビデンスに基づく理学療法 活用と臨床思考過程の実際 EBPT	内山靖	医歯薬出版

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

筆記試験にて評価する。